

平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 昭和真空

コード番号 6384 URL <http://www.showashinku.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小俣 邦正

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 田中 彰一

四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 042-764-0385

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	1,490	31.6	5	—	△18	—	△16	—
26年3月期第1四半期	1,132	△36.0	△86	—	△71	—	△97	—

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 △35百万円 (—%) 26年3月期第1四半期 △54百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	△2.72	—
26年3月期第1四半期	△15.80	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
27年3月期第1四半期	9,017	834.38	5,138	57.0	834.38			
26年3月期	8,709	824.67	5,078	58.3	824.67			

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 5,138百万円 26年3月期 5,078百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,874	66.9	47	—	40	—	29	—	4.80
通期	7,879	61.8	103	—	100	—	79	—	12.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	6,499,000 株	26年3月期	6,499,000 株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	340,242 株	26年3月期	340,242 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	6,158,758 株	26年3月期1Q	6,158,758 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	10
4. 補足情報 .....	11
(1) 生産、受注及び販売の状況 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な内需に支えられ緩やかな回復基調が続いておりますが、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動による景況感の小幅な悪化もあり、一部に弱い動きが見られる形で推移しました。また、設備投資に関しては底堅く推移しているものの、力強さに欠ける状況となっております。他方、世界経済も緩やかな回復基調にありますが、米国における金融緩和縮小による影響、中国やその他新興国経済の先行きへの懸念から不透明な状態で推移しました。

当社グループを取り巻く経営環境を見ると、中国を中心にスマートフォン関連の需要が引き続き好調に推移し、当社グループの主要な取引先である光学・電子デバイス業界を下支えしました。ユーザーから当社グループに対する引き合いも増加傾向にあり、慎重な姿勢に変わりはないものの、各社の設備投資に変化の兆しが見えてまいりました。

こうした環境の中、当社グループでは、海外を中心とした好調な市場に向けて拡販に注力してまいりました。特にスマートフォン向けの光学・電子デバイス業界では設備投資に積極的であり、受注を積み上げることができました。

生産面では、標準化の推進、在庫部品の積極的な活用等のほか、生産量が増加したことに伴う生産効率向上により原価低減を推進してまいりました。

損益面では、売上高は当初計画を若干下回ったものの、グループ一丸となって取り組んでいる原価低減の推進や固定費削減の積み重ねにより利益率の改善に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、受注高25億18百万円（前年同四半期比53.0%増）、売上高14億90百万円（同31.6%増）となりました。

損益につきましては、営業利益は確保したものの円高による為替差損の計上もあり、経常損失18百万円（前年同四半期は71百万円の経常損失）、四半期純損失16百万円（前年同四半期は97百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①真空技術応用装置事業

真空技術応用装置事業の業績につきましては、全体的にはユーザーの設備投資に対する姿勢は依然として慎重でしたが、スマートフォン関連の設備投資は積極的でした。

受注高は20億60百万円（前年同四半期比57.5%増）、売上高は10億32百万円（同15.3%増）、セグメント利益は78百万円（同59.8%増）となりました。

業界別の状況は以下のとおりです。

#### （水晶デバイス装置）

水晶デバイス業界では、最新装置の拡販を中心に推進してまいりました。

水晶デバイス装置の受注高は3億87百万円（前年同四半期比73.1%増）、売上高は2億85百万円（同1.8%増）となりました。

#### （光学装置）

光学業界では、アジア市場のスマートフォン向け光学部品メーカーに対して、積極的な営業活動を推進してまいりました。

光学装置の受注高は10億99百万円（前年同四半期比21.5%増）、売上高は4億23百万円（同58.2%増）となりました。

#### （電子部品装置・その他装置）

電子部品業界では、既存技術応用分野等の開拓を積極的に推進してまいりました。国内では既存顧客のほか新規顧客からの受注を獲得することができました。

電子部品装置・その他装置の受注高は5億73百万円（前年同四半期比219.3%増）、売上高は3億22百万円（同7.0%減）となりました。

②サービス事業

サービス事業につきましては、ユーザーに対する装置の改良等は順調に推移しましたが、消耗部品等の販売はやや苦戦いたしました。

サービス事業の売上高は4億58百万円(前年同四半期比93.3%増)、セグメント利益は1億13百万円(同591.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は59億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億41百万円増加しました。これは主に現金及び預金が2億99百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が3億79百万円、仕掛品が2億57百万円増加したことによるものです。固定資産は、31億13百万円となり、前連結会計年度末に比べ32百万円減少しました。これは主に有形固定資産及び無形固定資産が減価償却等により33百万円減少したことによるものです。

この結果、総資産は90億17百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億8百万円増加しました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は23億16百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億36百万円増加しました。これは主に支払手形及び買掛金が2億44百万円増加したことによるものです。固定負債は15億62百万円となり、前連結会計年度末に比べ87百万円減少しました。これは主に退職給付に係る負債が90百万円減少したことによるものです。

この結果、負債合計は38億79百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億49百万円増加しました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は51億38百万円となり、前連結会計年度末に比べ59百万円増加しました。これは主に利益剰余金が78百万円増加したことによるものです。

負債も増加した結果、自己資本比率は57.0%(前連結会計年度末は58.3%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の連結業績予想につきましては、現時点では平成26年5月9日付け「平成26年3月期決算短信」にて発表いたしました業績予想に変更ありません。

なお、当社グループを取り巻く市場動向を踏まえ、今後の業績推移につきましてはより慎重に注視し、連結業績予想数値に見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債権の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が94,805千円減少し、利益剰余金が94,805千円増加しております。また、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に及ぼす影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,343,189	1,043,266
受取手形及び売掛金	1,719,729	2,099,523
商品及び製品	3,797	3,237
仕掛品	2,063,958	2,321,646
原材料及び貯蔵品	290,986	254,058
繰延税金資産	36,953	38,171
その他	105,194	144,967
流動資産合計	5,563,808	5,904,870
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	757,186	739,913
機械装置及び運搬具(純額)	107,354	87,104
土地	2,109,669	2,109,669
その他(純額)	31,119	36,874
有形固定資産合計	3,005,331	2,973,562
無形固定資産		
その他	35,768	34,064
無形固定資産合計	35,768	34,064
投資その他の資産		
投資有価証券	99,594	100,876
その他	84,318	84,304
貸倒引当金	△79,741	△79,741
投資その他の資産合計	104,172	105,440
固定資産合計	3,145,272	3,113,067
資産合計	8,709,080	9,017,938

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,474,475	1,719,046
短期借入金	56,533	56,533
未払費用	140,472	145,222
未払法人税等	26,230	24,249
賞与引当金	83,167	49,957
製品保証引当金	58,000	66,000
工事損失引当金	43,200	51,700
その他	97,723	203,871
流動負債合計	1,979,802	2,316,580
固定負債		
社債	800,000	800,000
長期借入金	200,000	200,000
退職給付に係る負債	515,515	424,768
繰延税金負債	25,419	23,796
その他	109,411	114,070
固定負債合計	1,650,347	1,562,635
負債合計	3,630,150	3,879,216
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,177,105	2,177,105
資本剰余金	2,753,975	2,753,975
利益剰余金	302,518	380,594
自己株式	△278,091	△278,091
株主資本合計	4,955,506	5,033,583
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	36,538	37,363
為替換算調整勘定	91,516	74,129
退職給付に係る調整累計額	△4,630	△6,354
その他の包括利益累計額合計	123,423	105,138
純資産合計	5,078,930	5,138,721
負債純資産合計	8,709,080	9,017,938



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	1,132,566	1,490,627
売上原価	914,922	1,156,137
売上総利益	217,644	334,489
販売費及び一般管理費	304,234	328,784
営業利益又は営業損失(△)	△86,590	5,705
営業外収益		
受取利息	94	78
受取配当金	186	201
受取賃貸料	3,030	2,924
為替差益	20,759	-
その他	681	2,255
営業外収益合計	24,752	5,460
営業外費用		
支払利息	2,894	2,306
売上割引	2,677	1,305
為替差損	-	24,745
賃貸物件関係費	2,681	542
その他	1,235	934
営業外費用合計	9,488	29,835
経常損失(△)	△71,326	△18,669
特別損失		
固定資産除却損	-	4
特別損失合計	-	4
税金等調整前四半期純損失(△)	△71,326	△18,673
法人税、住民税及び事業税	3,826	1,483
法人税等調整額	22,169	△3,428
法人税等合計	25,995	△1,945
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△97,322	△16,728
四半期純損失(△)	△97,322	△16,728

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△97,322	△16,728
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,399	825
為替換算調整勘定	41,500	△17,386
退職給付に係る調整額	-	△1,723
その他の包括利益合計	42,900	△18,285
四半期包括利益	△54,421	△35,013
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△54,421	△35,013

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	895,439	237,127	1,132,566
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,049	3,986	5,035
計	896,489	241,113	1,137,602
セグメント利益	48,923	16,440	65,364

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(再調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	65,364
セグメント間取引消去	13,887
全社費用(注)	△165,842
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△86,590

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	1,032,236	458,391	1,490,627
セグメント間の内部売上高 又は振替高	12,532	2,302	14,835
計	1,044,768	460,693	1,505,462
セグメント利益	78,163	113,640	191,804

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(再調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	191,804
セグメント間取引消去	△4,427
全社費用(注)	△181,671
四半期連結損益計算書の営業利益	5,705

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 4. 補足情報

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## ①生産実績

当第1四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日) (千円)	前年同四半期比(%)
真空技術応用装置事業		
水晶デバイス装置	285,992	101.8
光学装置	423,746	158.2
電子部品装置	322,498	93.0
その他装置	—	—
真空技術応用装置事業計	1,032,236	115.3
サービス事業		
部品販売	190,126	99.4
修理・その他	267,385	585.1
サービス事業計	457,512	193.0
合計	1,489,748	131.6

- (注) 1. 上記の金額は販売価格によっております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ②受注実績

当第1四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)			
	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
真空技術応用装置事業				
水晶デバイス装置	387,447	173.1	562,760	187.0
光学装置	1,099,181	121.5	2,079,987	209.4
電子部品装置	540,673	300.9	675,010	223.8
その他装置	33,000	—	131,000	—
真空技術応用装置事業計	2,060,302	157.5	3,448,757	216.1
サービス事業				
部品販売	191,005	99.6	—	—
修理・その他	267,385	183.5	—	—
サービス事業計	458,391	135.8	—	—
合計	2,518,693	153.0	3,448,757	203.3

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③販売実績

当第1四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日) (千円)	前年同四半期比(%)
真空技術応用装置事業		
水晶デバイス装置	285,992	101.8
光学装置	423,746	158.2
電子部品装置	322,498	93.0
その他装置	—	—
真空技術応用装置事業計	1,032,236	115.3
サービス事業		
部品販売	191,005	99.8
修理・その他	267,385	585.1
サービス事業計	458,391	193.3
合計	1,490,627	131.6

(注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。